

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度3月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

### 事業名 高性能林業機械導入（花粉削減）事業費補助金（R5国補正）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

政部 森林経営課 スマート林業推進係 電話番号：058-272-1111(内4387)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 10,000 千円 （現計予算額： 0 千円）

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	10,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

## 2 要 求 内 容

### （1）要求の趣旨（現状と課題）

未だ多くの国民を悩ませ続けている花粉症問題の解決に向け、国は令和5年10月に「花粉症対策 初期集中対応パッケージ」を取りまとめ、その着実な実行に取り組むこととしている。林野庁では、花粉発生源対策として、スギ人工林面積を10年後の令和15年度に約2割減少させることを目指し、伐採面積を現行の約5万ha/年から10年後には約7万ha/年まで増加させることとしている。一方、本県の森林技術者数は、近年920人前後で推移しており、大幅な増加は期待できない状況である。

そこで、限られた人材でスギ人工林の伐採と花粉の少ない苗木への植替えを促進するため、国補正予算を活用し、林業事業者等が高性能林業機械を導入する経費を支援し、生産性の向上を図る。

### （2）事業内容

#### （ア）事業目的・事業効果

花粉の少ない森林への転換を促進するため、高性能林業機械を導入する意欲と能力のある林業経営体等に対して助成する。

#### （イ）内容

補助対象 高性能林業機械等

（タワーヤーダ、スイングヤーダ、プロセッサ、フォワーダ等）

(3) 県負担・補助率の考え方

国10/10

補助率 定額（生産量1000m<sup>3</sup>当たり2,000千円。上限は機械購入価格の1/2）

(4) 類似事業の有無

有

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,000	高性能林業機械導入等の支援
合計	10,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

2 林業・木材産業の振興

(2) DXの推進による林業・木材産業改革

(イ) 木材の安定供給と森林所有者への利益還元

(c) 高性能林業機械の導入等によるスマート林業の推進

(2) 国・他県の状況

国の補助事業であり、全国的に活用されている。

(3) 後年度の財政負担

国庫補助事業を活用し継続的に支援する。

(4) 事業主体及びその妥当性

1) 事業主体：県が選定した育成を図る林業経営体

2) 妥当性：国要綱に基づくもので、事業主体として妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

花粉の少ない森林への転換を促進するため、高性能林業機械の導入により、伐採作業の効率化・低コスト化を図る。

第4期岐阜県森林づくり基本計画終了年度の令和8年度に、木材生産量65万m<sup>3</sup>、木材生産性7.0m<sup>3</sup>/人日を達成する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①木材生産量 (千m <sup>3</sup> )	576	575	612	624	650	88%
②木材生産性 (m <sup>3</sup> /人日)	5.1	5.3	6.0	6.3	7.0	76%

### ○指標を設定することができない場合の理由

--

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>他の補助事業を活用し、4事業体が行った高性能林業機械11台の導入に対して助成した。</p> <p>令和2年度に高性能林業機械を導入した事業体の木材生産量の合計は、機械導入直前年度は45千m<sup>3</sup>であるが、令和7年度（機械導入から5年目）には1.6倍の70千m<sup>3</sup>にまで増やす計画である。</p>
令和3年度	<p>他の補助事業を活用し、4事業体が行った高性能林業機械6台の導入に対して助成した。</p> <p>令和3年度に高性能林業機械を導入した事業体の木材生産量の合計は、機械導入直前年度は38千m<sup>3</sup>であるが、令和8年度（機械導入から5年目）には1.5倍の56千m<sup>3</sup>にまで増やす計画である。</p> <p>指標① 目標：600千m<sup>3</sup> 実績：576千m<sup>3</sup> 達成率：96%</p>
令和4年度	<p>他の補助事業を活用し、1事業体が行った高性能林業機械2台の導入に対して助成した。</p> <p>令和4年度に高性能林業機械を導入した事業体の木材生産量は、機械導入直前年度は14千m<sup>3</sup>であるが、令和9年度（機械導入から5年目）には1.5倍の21千m<sup>3</sup>にまで増やす計画である。</p> <p>指標① 目標：600千m<sup>3</sup> 実績：575千m<sup>3</sup> 達成率：96%</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	国において「花粉症対策 初期集中対応パッケージ」が令和5年10月に取りまとめられたところであり、着実な実行が求められる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) 2	高性能林業機械の導入に合わせて木材生産量、素材生産性も増加傾向にあるため、事業効果は高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</li> </ul>	
(評価) 1	事業計画提出前には外部の委員による事前評価を受けるとともに、事業の承認時には機械規模・機種の必要性、機械経費の妥当性を再度検討することにより、経費の節減を図っている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 高性能林業機械の導入とともに、作業システムの見直しや工程管理改善の取り組みが重要となる。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 木材生産量の拡大、効率的な木材生産体制の強化を図るため、引き続き国補助事業を活用し、高性能林業機械導入する林業事業体を支援する。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】